

指標に関する初回ガイダンスを含むフレームワークの第二次ベータ版を TNFD がリリース

TNFD は自然関連リスク管理・情報開示フレームワークのベータ版を拡充し、指標に関するタスクフォースのアプローチ、特定のセクター向けのガイダンス管理ダンス、パイロットテスト支援のための追加ガイダンスなどを含めました。

ロンドン、2022年6月28日：[自然関連財務情報開示タスクフォース \(TNFD\)](#) は、自然関連リスクおよび機会管理・情報開示のフレームワークのベータ版 **v0.2** をリリースしました。今版は、3月に発表された初版をベースにして、**TNFD** の指標へのアプローチと、パイロットテストを始める市場参加者向けの追加ガイダンスを含めた点が特徴となっています。今後も引き続き市場からのフィードバックを取り込み、**2023年9月**に発表予定の **TNFD** 提言に向けてさらなるデザイン・開発が進められます。

3月に発表された初回のベータ版フレームワークは、市場参加者から圧倒的な支持を得て、**5大陸、37か国の130以上**の市場参加者・ステークホルダーから **500件**を超えるフィードバックをいただきました。

3月に発表された **TNFD** の情報開示に関する提言案、コアとなる概念、**LEAP**（発見、診断、評価、準備）評価アプローチに大きな変更はありませんが、この **v0.2** 版には、**TNFD** タスクフォース（フレームワークのデザインには [34名の個人メンバー](#)が関わっています）が慎重に開発した、いくつかの改善点と追加項目が含まれています。

- パイロットテスト実施者に役立つ、指標と目標のアーキテクチャ案と一群の評価指標例
- **LEAP** アプローチの一環としての依存関係と影響の評価方法、および優先地域の特定方法についてのさらなるガイダンス
- 国際サステナビリティ基準審議会（**ISSB**）、サステナビリティ会計基準審議会（**SASB**）、気候関連財務情報開示タスクフォース（**TCFD**）のアプローチに沿ったセクター分類など、市場参加者向け追加ガイダンスの今後の開発に対するタスクフォースのアプローチ概要
- 3月に初版がリリースされた、金融機関向け **LEAP** アプローチ（**LEAP-FI**）の拡充
- **2022年7月1日**から**2023年6月1日**までにベータ版フレームワークのパイロットテストの開始を検討する市場参加者に向けた追加の実践ガイダンス

指標と目標

自然関連の依存関係、影響、リスク、機会の測定に対するタスクフォースのアプローチは、複雑な科学と、戦略、ガバナンス、リスク管理、資本配分に関する意思決定のための明確でシンプルかつ比較可能な情報を求める市場参加者のニーズとのバランスを取ろうとするものです。

今回更新された **v0.2** 版で提案されているアプローチでは、評価指標と情報開示指標を区別していますが、これは、主流の財務管理・報告では、報告書利用者に開示されるものは、リスク管理と意思決定のために社内で分析されるもののほんの一部に過ぎないとの認識によるものです。

TCFD 同様、TNFD も当初は複数のセクターで使える指標という視点で取り組んできましたが、**v0.2** 版でも示されたように、タスクフォースは今後は特定のガイダンスの一部として、特定のセクター向けの追加指標を開発していく予定です。

この **v0.2** 版には、依存関係と自然への影響に関する、一群の評価指標例も含まれています。これは、[TNFD の 16 のナレッジパートナー](#) を含む基準団体や科学組織が推奨する、現在市場で使用されている既存の指標から導きだされたものです。LEAP アプローチに沿った依存関係と影響の分析で、パイロットテスト実施者を支援できるよう、タスクフォースが設定しました。**2022 年 11 月**と**2023 年 2 月**に予定されているベータ版フレームワークの更新版では、指標例がさらに拡充され、リスク、機会、対応の評価指標も含まれることとなります。

タスクフォースは、今後 **12** か月間に、パイロットテストとフィードバックから多くを学び、**2023 年 9 月**の最終提言発表までに、自然関連の依存関係、影響、リスク、機会に関する、管理可能な情報開示指標をまとめあげることを目指しています。

指標や目標の設定においては、多くの他の関係者の作業がまだ開発途上にあることも鑑み、データおよび測定技術、投資家の期待、規制要件の変化を経時的に取り入れていけるように、TNFD は全体的なアプローチの一環としてレビュープロセスを盛り込むことを提言しています。

追加ガイダンス資料

3 月の初版発表以降に寄せられたフィードバックの **1** つに、自然および自然関連リスク評価は大半の市場参加者にとって新しいものなので、TNFD から詳しいガイダンスが追加で提供されると助かるとの意見がありました。そのため、今回の TNFD の更新版ベータ版フレームワークには、LEAP アプローチを含む追加ガイダンスと、フレームワークの採用可能性について詳しくテストしたいと考える企業や金融機関向けの、パイロットテストに関する追加ガイダンスを含めました。

さらなるセクター向けガイダンスと、シナリオ利用に関するガイダンスについては現在開発中であり、**2022 年 11 月**と**2023 年 2 月**にフレームワークが更新されるタイミングで協議用草案に含まれることとなっています。

金融機関向けの自然関連リスクと機会の評価

3 月の初版で発表された TNFD の LEAP アプローチは、幅広い市場参加者から高い関心、支持を集め、多くのフィードバックを得ることができました。今版では LEAP アプローチの中核には何ら更新はありませんが、金融機関向けの LEAP アプローチ (LEAP-FI) は、金融機関の事業の性質と投資・クレジットポートフォリオに基づく異なるエントリーポイントを明確にし、さらなる改善を行いました。金融機関によるフレームワークのパイロットテストはすでに実施中で、その結果を LEAP アプローチのさらなる開発と改善に反映させていきます。

TNFD 共同議長を務めるエリザベス・ムレマ氏とデビッド・クレイグ氏は次のようにコメントしています。

「タスクフォースは、**3 月**に発表された最初のベータ版フレームワークを基に、フィードバックに耳を傾け、素晴らしいペースで作業を進めています。このプロセスに対して、市場から素晴らしい反響とフィードバックを頂けたことを嬉しく思っており、引き続き、他の基

準設定、規制、政策の世界的な進展に可能な限り合わせて、科学に基づく実践的なアプローチを開発してまいります」

-以上-

編集者様へ

TNFD のフレームワーク・ポータルは[こちら](#)からアクセスできます。

TNFD フレームワーク v0.2 の PDF 版は[こちら](#)からダウンロードできます。

自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）について

自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）は、常に変化する自然関連リスクを組織が報告し行動を起こせるようにするための統合リスク管理と情報開示に関するフレームワークを開発し提供することを目的として設立されました。世界の金融の流れを自然にとってマイナスの結果から自然にとってプラスの結果へとシフトさせるようサポートすることを究極の目的と考えています。

19.4 兆米ドル超の資産を有する **34** 名のタスクフォースメンバーが、TNFD 共同議長とともに TNFD フレームワークを策定しています。業界をリードする科学機関、基準作成機関、データ機関から構成される **16** のコアナレッジパートナーが、タスクフォースの取り組みに参加しています。**500** 以上の機関が TNFD フォーラムの一員としてタスクフォースの活動をサポートしています。

TNFD は **2023** 年にそのフレームワークを提供することで、常に変化する自然関連リスクについて組織が報告し、行動できるようにすることを目指します。金融機関や企業は、より優れた情報を得ることで、自然関連リスクと機会を意思決定のプロセスに組み込むことができるようになります。

TNFD イニシアチブは、**2020** 年 **9** 月に **Global Canopy**、**UNDP**、**UNEP FI**、**WWF** という **4** 機関により設立されました。**9** か月間の準備フェーズを経て、**2021** 年 **6** 月に正式に発足しました。TNFD は、英国政府、オーストラリア政府、スイス政府、オランダ政府、**UNDP**、地球環境ファシリティ（**GEF**）、チルドレンズ・インベストメント・ファンド財団（**CIFF**）の資金提供を受けています。

ウェブサイト：<https://tnfd.global/>

SNS リンク：[Twitter](#) および [LinkedIn](#)

詳細については以下宛てにご連絡ください。

Annebeth Wijtenburg

コミュニケーション担当リーダー

自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）

annebeth.wijtenburg@tnfd.global

+31642291086